

AI時代の知的財産保護：日本の新ルール「プリンシプル・コード」の全体像

生成AIの急速な発展に伴い、日本政府は知財保護と利活用のバランスを回すため、省庁横断的なガバナンス体制を構築しました。
その中核となる「プリンシプル・コード」は、事業者の自主的な情報開示と権利者保護を促す「ソフトロー」として機能します。

政府が推進するAIガバナンスの「4つの柱」



知財保護の核心「プリンシプル・コード」の3原則



ステークホルダー間の立場と課題の対比

